

字幕を活用した反転学習で、 アクティブラーニングの時間を確保 Active Learning

田淵 龍二 （ミント音声教育研究所）

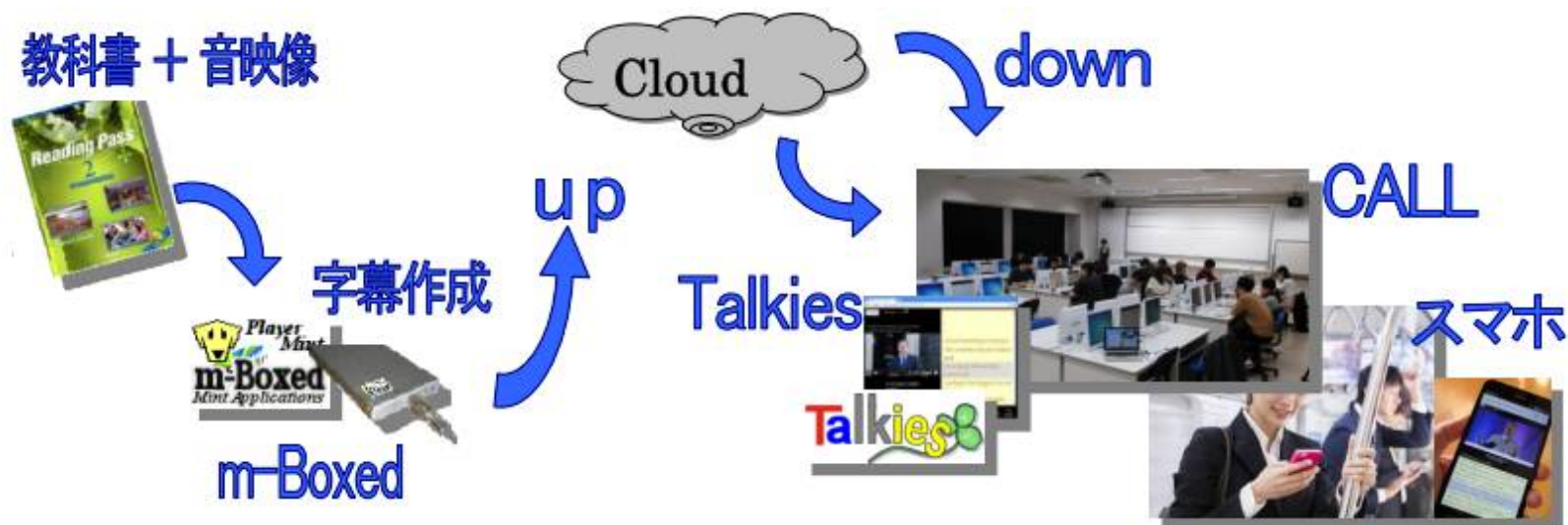
池山 和子 （首都大学東京）

2016 年度関東支部研究支援プログラム 中間報告

研究課題名：教科書添付音声副教材をウェブ化した CALL 教材

研究期間：2016 年 4 月～2018 年 3 月（2 年間）

方法の概要



教材のウェブ利用のためのガイドラインを策定

趣旨

このガイドラインは、（中略）音映像付き紙版教材をウェブ化し、Talkies で授業利用する場合に、出版社、Talkies 運営者、授業運営者の作業指針と遵守すべき規約についての取り決めである。



研究の目的

ウェブ教科書による ブレンド型授業で 円滑な学習サイクルを築く



AL の困難 その 1. 時間が足りない

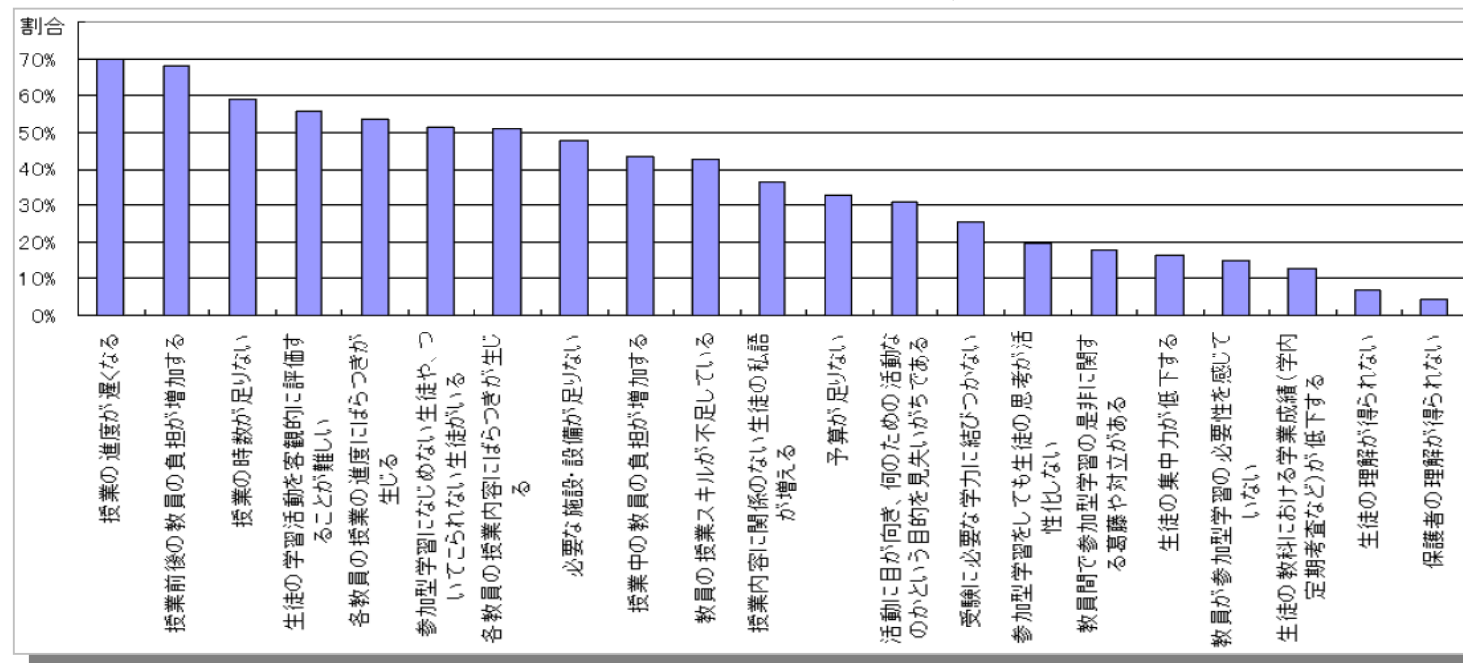


図 1.AL 授業の様々な「不安」について「あてはまる」と答えた高等学校教科主任の割合 (N=4,777~4,799)。(木村, 2015)

円滑なアクティブ・ラーニング授業運営のための方策

これまでの訳読授業	aーラーニング導入と困難	採用した方策
<div> <div>□ ■ ■ ■ □ ■ ■ ■ □</div> <div>----- ひとコマの授業 -----</div> <div>大半が訳読 ■</div> </div>	<div> <div>□ ■ ■ ■ □ ■ ■ ■ □</div> <div>□ ■ ■ ■ □ ★ ★ ★ □</div> <div>訳読 ■ が AL ★ に替わる</div> </div>	<div> <div>■ 予習で訳読補充</div> <div>クラス授業に臨む</div> <div>□ ■ ■ ■ □ ★ ★ ★ □</div> </div>

AL の困難 その 2.

予習をする生徒は 1 割少々

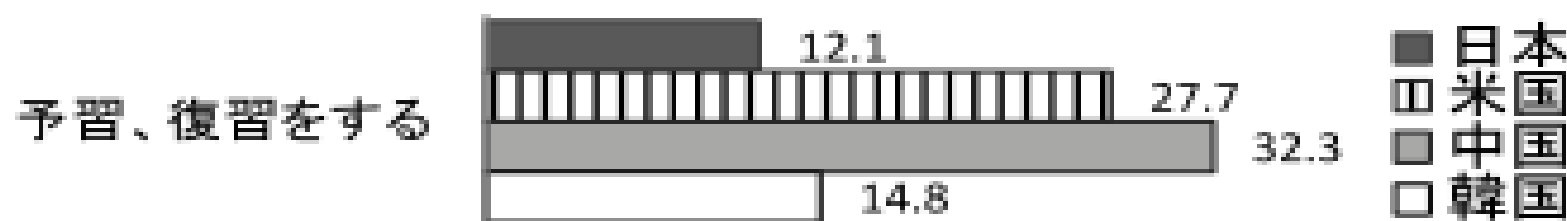


図 2. ふだんの勉強で「よく予習復習をする」と回答した割合（国別，N=7,854），（調査報告書，国立青少年教育振興機構，2017）

これまでの訳読授業	a-ラーニング導入と困難	採用した方策
<div> <div>□</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>□</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>□</div> </div> <p>大半が訳読 ■</p>	<div> <div>□</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>□</div> <div>★</div> <div>★</div> <div>★</div> <div>□</div> </div> <p>訳読 ■ が AL★に替わる</p>	<div> <div>■</div> </div> <p>予習で訳読補充</p>
		<div> <div>□</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>■</div> <div>□</div> <div>★</div> <div>★</div> <div>★</div> <div>□</div> </div>

e ラーニングで予習を促進

- (1) 音声と英文と和訳を十分に提供して自律学習を可能にする
- (2) 一定の内容理解を得たうえで、本授業でのアクティブ・ラーニングに望む
- (3) e ラーニング・ドリル学習結果の即時フィードバックとつながりの視覚化による動機付け

予習を促す e ラーニングの紹介と報告

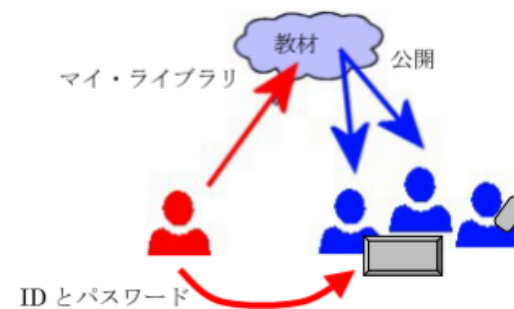
(1) テキストを素早く e 教材にする

Text to Talkies



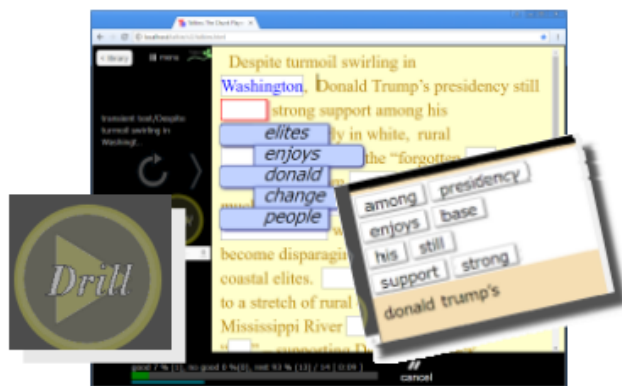
(2) 教材をスマホで予習する

learn on smartphone



(3) ドリルを自動生成する

automatically generated tests



(4) 学習結果を即時視覚化する

3D bubble chart system



予習を促す e ラーニングの実演

(1) テキストを素早く e 教材にする

URL :

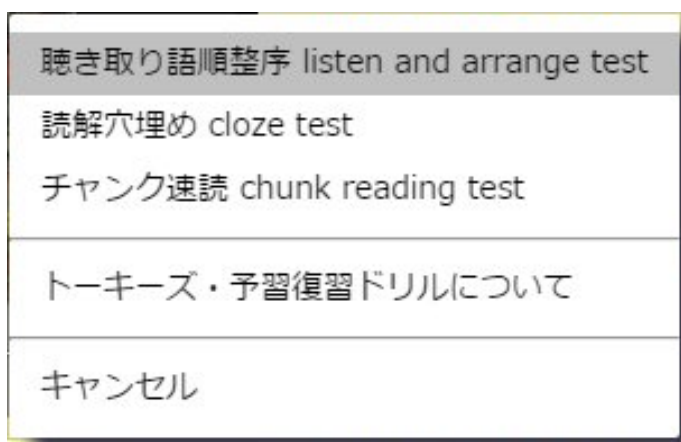
<http://www.mintap.com/talkies/>

操作 :

menu / 新規字幕作成 / 自動成形

(3) ドリルを自動生成する

操作 : ビッグアイコン・Drills



(2) 教材をスマホで予習する

操作 :

login / 案内に従う...

操作 :

library / my library / 案内...

(4) 学習結果を即時視覚化する

操作 :

ドリルを終えると自動的表示

操作 :

クイッカーに送ると自動的表示

秋からの共同研究者を募集

名称： 2016 年度関東支部研究支援プログラム

期間： 2017 年 9 月～翌 3 月

概要： テキストを Talkies に流し込んで授業利用する

データ： クラウドによる自動収集

経費： なし

連絡先： tabuchiryuji@nifty.ne.jp

興味のある方はお声かけ下さい

アンケートにご協力ください

ありがとうございました